

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	旧日本銀行新潟支店長役宅		
管理者名	新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体	指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日
担当課	中央区地域課		
所在地	中央区西大畑町5218番地1		
根拠法令			
設置条例	旧日本銀行新潟支店長役宅条例		
施設概要	敷地面積：1,731.37㎡、延床面積：496.49㎡ 建築構造：木造2階建て、建築年：昭和8年 施設内容 一階：応接室、書斎、控え室、座敷、居間、茶の間、奥座敷（2室）、書生室、女中室、 台所、浴室、物置 二階：客間、次の間、控え室 倉庫（一部コンクリート造二階建て） 庭園		

施設設置目的
旧日本銀行新潟支店長役宅を利用して、市民の芸術文化活動の促進を図ることを目的とする。
管理・運営に関する基本理念、方針等
旧日本銀行新潟支店長役宅は、新潟市歴史文化施設保存活用基本計画策定委員会により平成15年11月に策定、提案された「新潟市歴史文化施設保存活用基本計画」を踏まえ、市民に開かれた公の文化施設として活用することを目的としています。優良な指定管理者に管理運営させることで、多様化する市民ニーズに柔軟に対応し、本施設の設置目的をより効果的・効率的に達成することを基本方針とします。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	提供サービスの情報発信	ホームページアクセス件数 年間 15,000件 以上	20,000件	A	指標を上回る件数を達成している。
	施設利用度	利用者数年間 10,000人以上	10,180人	A	新規取り組みを多数実施し、指標を上回った。
	利用者の満足度	必要に応じアンケートや意見交換会等を実施し、ニーズを把握	アンケートを適宜実施し、ミーティングで共有	B	
	自主事業の実施	設置目的に合致した自主事業を 30件実施	設置目的に合致した自主事業を29件実施	C	内容は多岐にわたり充実していたが、指標を達成できなかった。
財 務	管理運営経費の節減	管理運営経費が指定管理料令和6年度予算額以下	予算額：2,522千円 決算額：2,358千円 (人件費除く)	B	
	市の歳入の増加	使用料収入が年間 600千円以上	367,190円	C	貸室利用が年々減少していることから、自主事業使用とのバランスを見極めるとともに、広報に努めること。
業 務	改善を必要とする際の対応の迅速さ・適切さ	改善勧告等を受けた場合は、速やかにそれに対応	改善勧告なし	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練実施 年2回以上	9月・3月2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	区役所、関連機関へ即日報告	事件・事故なし	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の遵守	研修会やマニュアルの整備	個人情報やハラスメント研修。各マニュアル館に設置	B	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適正に遵守	B	
人 材	配置人員条件の充足	外部研修を年1回以上受講 内部研修で月1回以上受講	内部研修：作家及び関係者との打ち合わせ 方法研修・作品展示の研修	C	内容や受講方法を工夫しながら、研修の機会を作ることを期待する。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守しており、労働モニタリングにおいて改善指導等なし	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れてい

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

新型コロナウイルス感染拡大で大きく落ち込んだ年間入館者数が、徐々に回復し、昨年度ようやく1万人を越えました。計画した自主事業もほぼすべて実施し、好評を得ました。昨年度の新しい取り組みとして「自主企画展」「芸術文化の催し」「生活文化の催し」「セミナー」に加えて「普及事業」として、砂丘館のもっと知ってもらうことを目的としたマルシェ(砂愉日くすなあそび)を9月に実施しました。二日目はあいにくの雨でしたが、それでも近隣の方々を中心に372人という多くの方々に砂丘館を訪ねていただくことができました。今年度も11月にマルシェを実施予定です。見学施設、市民利用施設、芸術文化施設という3つの面をもつ砂丘館のユニークな在り方を、さらに多くの市民に知っていただく努力を今年度もつづけていきます。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

館長をはじめ、職員の方々の趣向を凝らした多様な自主事業の実施により、入館者数が大きく増加した点は、運営の成果として高く評価できる。一方で、貸室使用料収入が年々減少している点は、引き続きの課題と言える。一層の自主事業や広報の充実を図り、新規の貸室利用者の獲得を目指していただきたい。引き続き、市民の芸術文化活動の促進を目的として一般公開している文化施設という当該施設の特色を生かした取り組みを実施するとともに、西大畑旭町界隈の地域活性化に力を発揮することを期待する。